

富田和成

The Philosophy of Millionaires

大富豪が実践している

お金の哲学

はじめに

「よし、今月からしっかり家計簿をつけてお金を増やしていこう！」
そう意気込んだ結果、真っ先に食費を削った経験はありませんか？

朝食を抜き、ランチをカップラーメンで済ませ、夜は自炊を徹底。たしかにそれを続ければ毎月数万円は節約できるでしょう。

しかし、大富豪になるような人はこういったアプローチをとりません。

カロリー摂取を食事の唯一の目的と考えると、食費を削る手段は一見合理的に見えます。しかし、栄養バランスや体のコンディションのことまで考えると、食材の質まで下げるとは大きなリスク要因になります。

車で例えると大富豪にとっての食事はエンジンのポテンシャルを最大限発揮しながら、長く走り続けるためのガソリンです。目先のお金をケチって粗悪なもの

を使ってしまうとエンジンはすぐにダメになります。これではせっつかく節約した分も帳消しです。

大富豪のマイノリティを持った人は少し値がはっても高品質なガソリンを使い続けたほうが生涯のコストパフォーマンスが高いと判断するのです。

添加物満載のランチで健康を切り売りしながらコツコツお金を貯めるのではなく、定食屋さんに行ってバランスのとれたランチを食べ、心身ともに健康体を維持し、仕事の集中力を高めて早く収入を上げる。

お金を増やすためにあえて割高な食事をする、ということなのです。

それに毎晩自炊をしてしまうと夜の交流がなくなります。

大富豪にとって食事は健康の源であると同時に交流の機会でもあると考えているので、自らの意思でネットワーキングの手段を断つことは考えられません。多忙を極めるベンチャー企業の若手経営者などは、ランチですら「今日は誰と食事をしようか」と考えているくらいです。

仮に夜の会食に、ビジネスの第一線で活躍する逸材が集うとしましょう。

参加費は2万円。普通の飲み会や合コンに行くより相場が高いです。

しかし、その会食に参加することで得られるものを考えてみると……

- ・経営者と接点ができるかもしれない
 - ・ハイエンドのコミュニティーに入るきっかけになるかもしれない
 - ・稀少な情報を手に入れるかもしれない
 - ・自分の視点が上がり、仕事へのモチベーションも上がるかもしれない
- と、さまざまな期待リターンが想定できます。

使った「お金」と「時間」を上回るリターンが得られるチャンスがあるなら、それを活かさないのは実にもったいない話です。

このように、大富豪になるべくしてなった人や、大富豪になるポテンシャルを持った人は、何事も投資目線で考えます。

食事以外にも、かばんやスーツ、子供の教育、毎日の移動手段から自分の住む

場所にいたるまで、二重、三重に意味を持たせ、お金を使うときはそれ以上のお金を稼ぐことにつなげていく。逆にキャッシュがキャッシュを生まないのであれば投資不適合とみなし、たとえ1000円であってもお金を使わない。

これこそ大富豪のお金の哲学です。

こういった習慣は、お金がないときに実践することで最大の効果を発揮します。「自分は大富豪でもないし、大富豪になることも考えていない」と思っている人こそ、財布を開くたびに「このお金は自分にとってどのようなリターンを生み出すのか」という生き金発想を身につける必要があります。

□ 大富豪のマインドはどうやって生まれるのか

このような極めて合理的な大富豪のマインドはどうやって生まれるのでしょうか。

生まれつき算盤勘定が得意という人もいますが、大半の人は後天性です。

そもそも大富豪には大別して2種類あります。

裕福な家庭に生まれた相続型か、自力で富を築いた立身出世型か。

相続型の場合、お金に対する教育は子供のときから家庭内で叩き込まれるのが一般的です。

「金持ちの家の子息は甘やかされている」という認識が広まっていますが、それが起きやすいのは事業を継承するわけではない家系（スポーツ選手やアーティスト）の子息や、一代で事業を成功させたものの資産承継にはまだ手が回っていない有力者の子息などであって、名家と呼ばれるような代々資産家の家庭では教育が徹底されているので、そういった例はむしろ稀です。

一方、立身出世型の人が大富豪のメインンドを持つのはいつかというところ、必要に迫られて身につけるケースがほとんどです。

その背景には立身出世型ならではの強い目的意識があります。

人がお金を儲ける目的は十人十色。家族にいい生活をさせてあげたい、歴史に

名を残したい、社会貢献がしたい、早く引退したい、異性にもてたいなどさまざまです。

ただ、何かを成し遂げたいと思う気持ちが強ければ強いほど、この世で各人に与えられた時間、お金、そして能力は決して平等ではなく、しかも思いのほかに少ないという、当たり前にして残酷でもある現実を、誰よりも意識せざるを得ないのです。

そういう意味では幼少時代に貧しい家で育った人や、何かしらのハンディキャップを背負ってきた人が、その後大きなことを成し遂げるサクセスストーリーが多いのも納得できるのではないのでしょうか。彼らは社会の現実を痛いほど直視してきたからこそ、その現実から逃げることなく強烈な目的意識を持って努力を重ねるわけです。

こうした現実先行型にせよ、夢を見つけてそこに愚直に突き進む目的先行型にせよ、立身出世型の人には明確なゴールの意識があり、それを達成するためには

限りある資源を最大限に活用する必要に迫られます。

その結果、日頃から合理的な判断を下す習慣が身につくにつき、おのずと投資マインドが植え付けられるようになるのです。

□ 大富豪と経営者の思考は似ている

合理的な判断を下すと聞いて真っ先に思い浮かぶのは企業経営かもしれません。実際、大富豪の多くは経営者です。

ランドスケイプ社が提供している富裕層に関する調査報告をみると、日本で金融資産1億円以上の人の半数は経営者だそうです。

厳密に言えば企業経営者が33・6%で、医師が9・5%、マンションオーナー・地主が7・1%。その他は企業役員や土業の方などです。

大富豪の医師の大半は開業医ですし、マンションオーナーなども不動産経営を営んでいるわけですから、広義で言えば経営者と言えます。

企業経営の至上目的は、今ある人材や設備、資金（人、モノ、金）を使っていかに事業を成長させていくかです。そして、その手法や心構えは個人にそのままあてはめることができます。

たとえば、世界最大のプライベートバンクであるスイスのUBSは、世界中の富裕層の資産運用を本業としています。

そのUBSが顧客の資産を管理するにあたって使っているツールは、何も魔法のレシピではありません。ただの貸借対照表（バランスシート）と損益計算書。

企業とまったく同じフォーマットなのです。

なぜ同じなのかというと、目的が同じだからです。

その目的とは資産と負債を明確にしたうえで、キャッシュフローをいかに改善するか。わかりやすくいえば、眠っているだけの資産を減らして、少しでも利潤を生むように資産を再配分するかです。

一般家庭の家計簿としてバランスシートと損益計算書を作っている人はまずいないでしょうが、本気でお金を増やしたいのであればこれくらいの精度と努力が欠かせないということでもあります。

資産を増やす観点で見れば、企業であろうと個人であろうとやるべきこと、考えるべきことに大差はありません。だからこそ優秀な経営者ほど自分の資産に対する意識も高く、さらに自分への投資も欠かさないのです。

「社長だから大富豪」なのでなく、「大富豪になるマインドがあるから社長になれた」と考える方が真実をついていると思います。

□ 自分のことを会社だと考えてみる

企業と個人がいくらか似通っているといっても、企業と違って個人は成長する義務がありません。

毎年赤字を出す企業の経営者は株主から退席を命ぜられますが、個人の資産が

いくら減ろうと文句をいうのは家族だけです。企業が必ず中長期の目標を立てるのと同じように、個人も「成長しよう」「結果を残そう」「資産を増やそう」と明確に目標を定めない限り、普通の人が大富豪になることはまずありえません。目的を持つこと。

そしてその実現のために合理的に考えること。

「株式会社じぶん」の設立が大富豪への道の第一歩と言えるかもしれません。

□ 知られざる大富豪の実態

私は前職の証券会社時代、富裕層向けのプライベートバンキング部門にて世界の大富豪と仕事をさせていただく機会を持つことができました。

なにせ顧客の大事な資産を預かるわけですから信頼関係を構築することがとにかく重要で、お客様の身の上相談にのったりしながら、かなり密接なお付き合いをさせていただきました。

私は決して裕福な家庭の出ではありません。そんな私が見た富裕層の世界。最初のうちは驚きの連続でした。

しかも、その多くは一代で富を築いた時代の寵児たちです。20代だった私が刺激を受けなかったわけがありません。

いつしかその驚きは納得へと変わるようになり、「こういう人だからお金持ちになれるんだ」と、徐々に共通点が見えるようになりました。

本書では私なりの目線でみた大富豪の実態をつまびらかにすることによって、大富豪ならではの習慣や心構え、ひいてはその根底に流れるお金に対する哲学をみなさんに知っていただくこうと思っています。

また、自分自身が金融情報を集約・発信する会社を経営する身となり、同世代のベンチャー経営者やIT長者などとの交友関係が増えるなかで、そうした新世代の大富豪のマインドも随時紹介していきたいと思えます。

大富豪を目指している人はもとより、富裕層ビジネスに携わっている方々にと

っても参考になる内容だと自負しています。

なお本書でいう「大富豪」とは、純金融資産で1億円以上を保有する人と定義することにします。日本だと人口の約2%にあたります。

また、便宜上「小金持ち」とは年収数千円はあるが、純金融資産が1億円未満の方を想定させていただき、それ以外を「一般人」とさせていただきました。表現がきついのは出版社の意向も含んでいますのでご了承ください。

ではさっそく、知られざる富裕層の世界の扉を開けてみましょう。

第1章

一般人と小金持ちと大富豪の違い

はじめに

003

01

about
ゴール設定

一般人は、年収20000万円をあきらめめる
小金持ちは、年収20000万円で満足する
大富豪は、年収20000万円を通過点と考える

028

02

about
収入源

一般人は、時間でお金を稼ぐ
小金持ちは、運でお金を稼ぐ
大富豪は、仕組みでお金を稼ぐ

034

03

about
イメージ

一般人にとって、大富豪は「ずる賢い人」
小金持ちにとって、大富豪は「優秀な人」
大富豪にとって、大富豪は「まっとうな人」

040

04

about
稼ぐ目的

一般人は、生活のために稼ぐ
小金持ちは、豪遊するために稼ぐ
大富豪は、世の中のために稼ぐ

044

大富豪のお金の使い方

05

about
改善力

一般人は、社会のせいにする
小金持ちは、運のせいにする
大富豪は、自分のせいにする

.....
050

06

about
節約術

一般人は、毎日の食費を削る
小金持ちは、入った分だけ使い切る
大富豪は、大きな支出だけ抑える

.....
056

07

about
スーツ

一般人は、好みでスーツを選ぶ
小金持ちは、誇示できるスーツを選ぶ
大富豪は、相手にどう見られたいかで服を選ぶ

.....
062

08

about
腕時計

一般人は、ロゴが目立つタグホイヤー
小金持ちは、ド派手なロレックス
大富豪は、地味なパテック・フィリップ

.....
068

13	12	11	10	09
about 食事	about 別荘	about 自宅	about 飛行機	about 車
一般人は、肉料理を優先する 小金持ちは、星の数で選ぶ 大富豪は、栄養バランスを優先する	一般人は、買う余裕がない 小金持ちは、老後のために用意しておく 大富豪は、もてなしの場として使う	一般人は、郊外に買う 小金持ちは、高級住宅街に買う 大富豪は、会社の近くで借りる	一般人は、エコノミークラスを使う 小金持ちは、ファーストクラスで王様気分 大富豪は、ビジネスクラスで英気を養う	一般人は、公共交通機関を使う 小金持ちは、高級車を乗り回す 大富豪は、タクシーを使う
092	088	082	078	074

14
about
運動

一般人は、ジョギングをする
.....
小金持ちは、マラソンをする
大富豪は、トライアスロンをする

096

15
about
店選び

一般人は、ネット上の評価の高い店
.....
小金持ちは、きらびやかなフレンチ
大富豪は、人から紹介された和食店

100

16
about
自己投資

一般人は、ほとんどしない
.....
小金持ちは、給料の2割を使う
大富豪は、給料の半分を使う

106

17
about
スキル

一般人は、とりあえず簿記
.....
小金持ちは、まっさきにMBA
大富豪は、魅力的な話し方

110

18
about
資格選び

一般人は、必要以上には勉強しない
.....
小金持ちは、手当たり次第に資格を取る
大富豪は、抜き出た職務スキルをひとつつくる

114

23	22	21	20	19
about 教育方針	about マイレージ	about ギャンブル	about 旅行	about 休日
一般人は、元気に育ってほしい 小金持ちは、不自由なく育ってほしい 大富豪は、自活できるように育ってほしい	一般人は、無料航空券のために貯める 小金持ちは、VIP待遇のために貯める 大富豪は、現金の感覚で貯める	一般人は、カジノの雰囲気にもまれる 小金持ちは、大勝負をする 大富豪は、社交場として使う	一般人は、パッケージツアー 小金持ちは、高級リゾートホテル 大富豪は、オータメイドの旅をする	一般人は、気づいたら月曜日 小金持ちは、全力で遊ぶ 大富豪は、遊びながら仕事する
136	132	128	124	120

大富豪のお金の増やし方

24

about
複利運用

一般人は、単利で増やそうとする
小金持ちは、早く稼ごうとする
大富豪は、人生単位の複利で考える

142

25

about
リスク管理

一般人は、安全性を重視する
小金持ちは、効率性を重視する
大富豪は、安全かつ効率的な落とし所を探る

146

26

about
ローン

一般人は、利息に苦しむ
小金持ちは、利息をケチって借りない
大富豪は、ローンでお金を生み出す

150

27

about
大暴落

一般人は、傍観する
小金持ちは、損切りする
大富豪は、買い増しする

156

32	31	30	29	28
about 外貨	about 物件選び	about 不動産投資	about 投資信託	about 100万円
一般人は、旅行で余ったコインを取っておく 小金持ちは、外貨預金をする 大富豪は、外貨MMFやFXで外貨を買う	一般人は、新興住宅地を買う 小金持ちは、東海道線沿いを買う 大富豪は、山手線の内側を狙う	一般人は、高くてできないと思っている 小金持ちは、転売目的で買う 大富豪は、長期収入源として買う	一般人は、毎月分配型で資産を食い潰す 小金持ちは、アクティブ投資信託を買う 大富豪は、ETFで自前のポートフォリオを組む	一般人は、まとまった額になるまで貯金する 小金持ちは、国債を買ってみる 大富豪は、攻め中心のポートフォリオを組む
182	178	174	168	160

33

about
株の銘柄

一般人は、みんなが買っている株
小金持ちは、値上がりしそうな業界の株
大富豪は、景気に左右されない業界の株

186

34

about
ファンダ
メンタルズ

一般人は、そもそも読めない
小金持ちは、P E R を重視する
大富豪は、P B R を重視する

192

35

about
株価予測

一般人は、チャートで読む
小金持ちは、財務諸表で読む
大富豪は、経営者で読む

198

36

about
NISA

一般人は、投資入門のチャンスだと思っている
小金持ちは、少額投資には興味がない
大富豪は、確実性の高い投資に使う

202

37

about
専門家

一般人は、金融機関の窓口に行く
小金持ちは、誰にも頼らず自力で行う
大富豪は、紹介で知った一流のプロにお願いする

206

第4章

大富豪のお金の守り方

38

about
負け方

一般人は、金輪際、投資をしないと誓う
小金持ちは、勝ちにこだわり傷口を広げる
大富豪は、潔く負けを認めて次に進む

212

39

about
銀行

一般人は、メガバンクとゆうちょ銀行
小金持ちは、メガバンク複数行
大富豪は、メガバンク2行と海外銀行

216

40

about
保険

一般人は、勧められたので入る
小金持ちは、相続対策で入る
大富豪は、興味がない

220

41

about
相続税①

一般人は、一切対策しない
小金持ちは、老後に対策を始める
大富豪は、若い時から暦年贈与する

226

45

about
海外の別荘

一般人は、宝くじがあたったら考える
小金持ちは、転売用に南国のリゾート地を買う
大富豪は、税金対策用にアメリカの木造住宅を買う

254

250

44

about
相続税④

一般人は、資産を使い切る
小金持ちは、頑張って圧縮する
大富豪は、シンガポールに移住する

246

43

about
相続税③

一般人は、口座に資産を入れっぱなし
小金持ちは、自分の会社で家族を雇う
大富豪は、資産管理会社を立ち上げる

240

42

about
相続税②

一般人は、マイホームにする
小金持ちは、資産を増やそうとする
大富豪は、資産を圧縮しようとする

234

本書で取り上げる資産運用術、投資術および節税術は、大富豪に共通してみられるテクニックを著者が解説したものであり、その効果を確約するものではありません。

税制対策については税理士の助言を受けること、また、金融商品の購入にあたってはそのリスクを各自が見極めて行動されることを強くお勧めいたします。

